

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年1月11日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	50週	51週	52週	1週	警報レベル		注意レベル
	12月11日～12月17日	12月18日～12月24日	12月25日～12月31日	1月1日～1月7日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	98 32.67	53 17.67	43 14.33	43 14.33	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	12 4.00	9 3.00	12 4.00	22 7.33	-	-	-
RSウイルス感染症	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-
咽頭結膜熱	4 2.00	1 0.50	4 2.00	3 1.50	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 4.50	9 4.50	10 5.00	7 3.50	8	4	-
感染性胃腸炎	9 4.50	16 8.00	11 5.50	4 2.00	20	12	-
水痘	0 -	0 -	1 0.50	0 -	2	1	1
手足口病	0 -	1 0.50	0 -	0 -	5	2	-
伝染性紅斑	0 -	0 -	0 -	0 -	2	1	-
突発性発しん	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-
ヘルパンギーナ	0 -	0 -	0 -	0 -	6	2	-
流行性耳下腺炎	0 -	0 -	0 -	0 -	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-
川崎病	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-
不明発疹症	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	-	○	-
備考		新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(0～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定しています。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	0	1/10～1/16	166人
前週	0	1/3～1/9	177人

※県の在院者数は毎週水曜日時点

4. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

- ・ インフルエンザは前週と同数で、警報レベル継続中です。
- ・ 新型コロナウイルス感染症は前週より増加しました。
- ・ 咽頭結膜熱は前週より減少しました。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週より減少しました。
- ・ 感染性胃腸炎は前週より減少しました。

【 集団発生情報 】

新たな集団発生の報告はありません。

【 感染症コラム ～A型肝炎～ 】

- ・ A型肝炎はA型肝炎ウイルスが口から入り肝臓に感染する疾患です。
- ・ 国内における主な感染源は、海産物等の飲食によるとされています。
- ・ 感染者の便中にウイルスが排泄されるため、感染するリスクは衛生環境に左右されます。発展途上国では蔓延していますが、先進国では上下水道などの整備により感染者は激減しています。
- ・ こどもは軽症で済みますが、高齢者では症状が強く出る傾向にあります。
- ・ 発熱、頭痛、筋肉痛、腹痛などの肝炎症状が強いです。症状や肝障害の改善が早く、予後は良好です。
- ・ 予防としては、手洗いの励行や、ワクチンです。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7595

HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>